



慈光

第101号

令和元年12月



「秋まつりのステキな笑顔」

編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園
慈光園デイサービスセンター
慈光園中央デイサービスセンター
在宅介護支援センター慈光園
慈光園ホームヘルプステーション
ケアハウス ウェルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://nagai-jikouen.jp/>

印刷 (株)サンノー企画印刷



私たちは、ご利用者の人生の重みを受け止め、敬意をこめた介護にあたります。

社会福祉法人長井福祉会慈光園

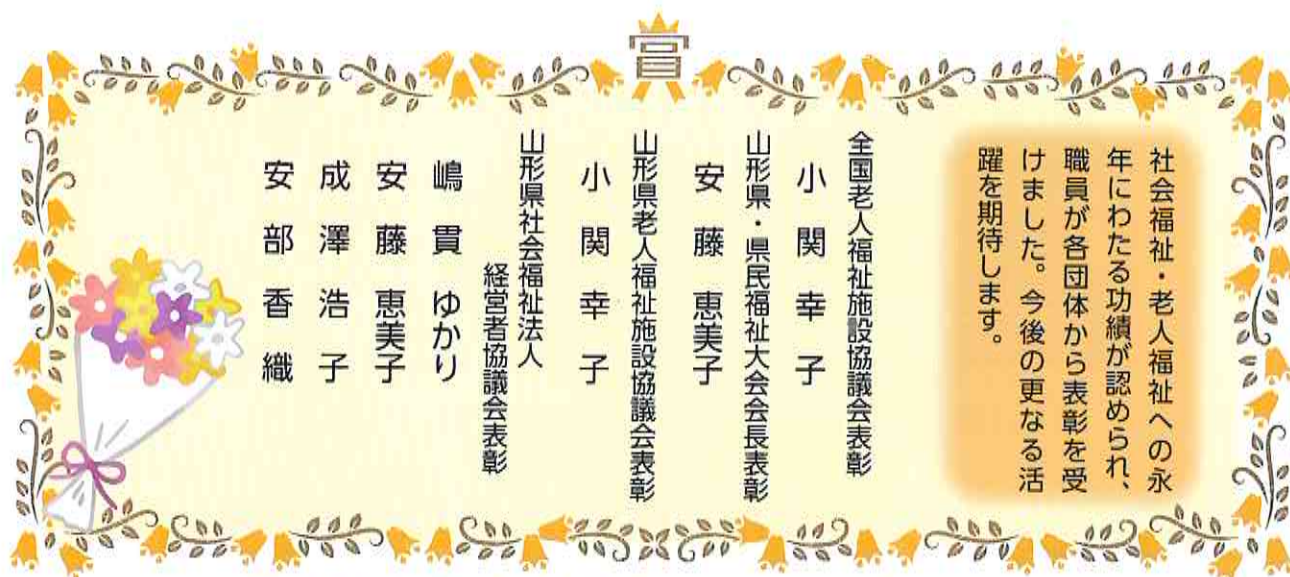
園長 皆川善典

「社長、御社の経営理念が会社を潰す!」「理念なき会社は滅びる。」これは某経営コンサルに携わる書籍のタイトルです。実にネガティブな表現ですが、それ故に経営理念の重要性を見出すことができます。

特別養護老人ホーム慈光園の開設にご尽力された先代理事長が折にふれ私たちに語られた中で、現在も介護事業の支えともなり励みとなっている言葉があります。「かつて、地域医療を担う医師として農村部に往診に行く度に心痛むことがあった。働き手は皆田畑に出、残された寝たきりのお年寄りには、おにぎりや尿瓶が枕元に置かれていた。そのおにぎりは蠅で真っ黒だった…。これまで家族のために懸命に働いてきた人の末路がこうであっては決してならない。何とかして施設を創りたい。これが『慈光園』創設の心の原点になったのだ。」と。

本題は、長井福祉会の経営理念として根付いて幾久しく経ちますが、『慈光』第一〇一号発刊を機に原点に立ち返るべく、理念の誕生の歴史を皆さんにご紹介した次第です。「ご利用者の人生」、「敬意を込めた介護」とは何を指すのでしょうか。他人を自分や家族に置換え、この世に生を受けてから介護が必要となった現在に至るまでの歴史を純粹に理解することに始まると考えます。そこから、その人らしく生きる（活きる）お手伝いをさせていただくという大切な意味があります。

未来永劫、『創設の心』を忘れず、長井福祉会役職員一丸となり介護事業の充実を図ってまいりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年度 社会福祉法人長井福祉会決算状況

資金収支計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日
(単位：円)

事業活動収入	1,081,084,143
事業活動支出	951,243,454
事業活動資金収支差額	129,840,689
施設整備等収入	0
施設整備等支出	31,807,684
施設整備等資金収支差額	△ 31,807,684
その他の活動収入	15,139,583
その他の活動支出	46,965,200
その他の活動資金収支差額	△ 31,825,617
予備費	0
当期資金収支差額合計	66,207,388
前期末支払資金残高	602,635,205
当期末支払資金残高	668,842,593

事業活動計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日
(単位：円)

サービス活動収益	1,068,843,778
サービス活動費用	1,030,762,298
サービス活動増減差額	38,081,480
サービス活動外収益	13,611,843
サービス活動外費用	5,367,322
サービス活動外増減差額	8,244,521
経常増減差額	46,326,001
特別収益	0
特別費用	5,784
特別増減差額	△ 5,784
当期活動増減差額	46,320,217
前期繰越活動増減差額	1,512,469,973
当期末繰越活動増減差額	1,558,790,190
その他の積立金積立額	30,000,000
次期繰越活動増減差額	1,528,790,190

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

流動資産	705,575,865	流動負債	97,351,200
		固定負債	367,486,924
		負債の部合計	464,838,124
固定資産	2,391,314,548	基本金	37,937,000
		国庫補助金等特別積立	464,525,099
		その他の積立金	600,800,000
		次期繰越活動増減差額	1,528,790,190
		純資産の部合計	2,632,052,289
資産の部合計	3,096,890,413	負債および純資産の部合計	3,096,890,413

※詳細はホームページまたは長井福祉会事務所において閲覧等の方法により開示します。



黒獅子舞



皆さんおめでとうございます!



いつまでもお元気におすごください





慰霊祭



赤組頑張れ～

おいしい芋煮が
できました♪

秋まつり

白ゆり保育園の
皆さんと玉おくり



献血ご協力
ありがとうございました

文化祭

演芸大会

認知症ケア対策推進委員会の取り組みを紹介



認知症ケア対策推進委員会では、昨年と今年の2年間に渡り直接処遇職員を中心に園内研修として、月1回8〜10人程度のグループを編成し「認知症疑似体験」を行っています。疑似体験を通して受講職員同士で感じたことや気づいたことを共有し、実際の現場において相手の立場になり「なぜ」を考え、その後のケアへの展開ができるようになることを目的としています。

モデル事例の疑似体験をした職員からは、「理解してもらえず否定されて辛かった」「勝手に無気力と決めつけられて悲しかった」などの声が聞かれています。認知症が進行している方の不安やストレスの深さを含み、どのような思いで生活しているか基本的な症状の観察と心理的状況の把握の大切さを再認識できた研修となりました。



24時間テレビチャリティティー募金

慈光園夏祭りなどでの皆様からの温かい善意が総額86,141円集まりました。この募金につきましては、9月20日に山形新聞社長井支社にお届けしてまいりました。ご協力賜りました皆様に御礼申し上げますとともにご報告いたします。



編集後記

師走らしくない天候が続いておりますが、年末の慌ただしさは毎年変わらずといったところです。

今号では地域の方との交流や、皆さんから多くのご協力をいただいた夏祭りや文化祭などの様子を掲載しました。

また、慈光園で提供するサービス質向上に向けた取り組みや、ご利用者さんの「笑顔」もご紹介しております。

これからもご利用者さんがより過ごしやすく、より楽しく張りのある生活を送っていただける様子など沢山ご紹介して参ります。



編集委員

- ◎吉野 弘子 ○青木 明子
- 須貝 崇志 田中 俊行
- 川井 梓 佐藤 純司
- 小関 幸子 佐久間 優香
- 梅津 智之 土屋 睦美
- 宇津木 理紗